

モスの株主通信



MOS BURGER

第37期 報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

株式会社 モスフードサービス



代表取締役社長 櫻田 厚

あゆむ

本格的な収益力の回復へ

当期は、業績の回復を最重要課題と位置づけ、当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業に経営資源を集中し「既存店の活性化」「不採算店の整理」に注力し、さまざまな施策を行ってきました。その結果、売上高606億41百万円（前期比2.7%減）、営業利益17億47百万円（前期比132.2%増）、経常利益18億2百万円（前期比41.0%増）、当期純利益5億52百万円となり、当初の純損失計画から一転し、収益を確保することができました。

業績好転のポイントを挙げますと、まず、上期に行ったミスタードーナツとの共同プロジェクト“MOSDO!”の第1弾商品「ホットチキンバーガー」の販売です。このキャンペーンは、事前の期待感もあり、多くのお客さまにご支持をいただくことができました。また、前期で好評だった販売地域限定の「ご当地メニュー」を下期では、別地域で販売し、地域ごとにきめ細かい販売促進活動を行ってきたことです。これはご来店客数の増加につながりました。そして、なんとと言っても、年末の12月27日より国産肉をはじめとした国産素材にこだわった新定番商品「とびきりハンバーグサンド」の販売が挙げられます。この商品は当初の計画を大幅に上回る大ヒットとなり、売上に大きく貢献しました。その他には、「フィッシュマリネバーガー」や「モスのトルティーヤ」など数々の新商品の投入、現在、会員数170万人超まで増加している携帯サイトの大幅なリニューアルなどがあります。特にテレビCMに加え、携帯メールでの情報発信が大きな力となりました。

海外展開につきましては、すでに台湾、シンガポール、香港、タイに進出しているほか、平成20年12月には、インドネシアの首都ジャカルタにも進出し、さらに平成21年5月には2号店をオープンしました。平成21年3月末で、台湾147店、シンガポール23店、香港9店、タイ6店、インドネシア1店 合計186店（前期末比24店増）となりました。いずれの国・地域でも店舗数、業績とも順調に推移しています。

今後の取り組みについて

当社グループの飛躍のために、平成21年度は増収増益とモスバーガー店舗の純増を目指し、引き続き基幹事業であるモスバーガー事業に経営資源を集中します。

強い定番商品の新たな柱とすべく発売された「とびきりハンバーグサンド」は、旬の素材を生かしながら年間を通じて愛される商品へと大きく育てていきます。また、ボリュームに合わせた新価格帯の商品群のひとつとして、パティを2枚挟み込んだボリューム感のある「W(ダブル)パティ」シリーズも定番メニューとして発売し、今後さらなるお値打ち品の提供を続けていきます。販売促進活動については、スローガン「身近。ワクワク。笑顔。」を掲げ、よりお客さまに親しみ

を感じていただける店舗づくりを目指します。

海外展開においては、台湾をはじめとする既出店各国・地域での店舗拡大とともに、マレーシア、韓国、中国等、その他諸国についても進出に向けた調査を行い、平成21年度は新たに2カ国に進出を予定しています。アジアのモスへと本格的に展開し、世界のモスへの基盤づくりを行います。

今後も当社グループは、お客さまから、なくてはならないお店、となるようブランド価値のさらなる向上と業績の回復を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続きあたたかいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第1弾

ホットチキンバーガー

ホットチキンパイ
(ミスタードーナツ商品)

第2弾

ドーナツバーガーモス
(わさびソース)

ドーナツバーガーテリ
(わさびソース)

ドーナツバーガー
(ミスタードーナツ商品)

ポテト

株主優待券相互利用（「ご使用期限 平成21年9月30日」のご優待券より使用可能）

モスフードサービスとダスキン株主優待券が、全国のモスバーガーグループおよびミスタードーナツ各店舗で相互利用できるようになりました。
※一部店舗除く

主食のモスバーガーと軽食・喫茶のミスタードーナツとのコラボレーション商品第1弾、「ホットチキン」を商品開発の共通テーマとし、全国のモスバーガー店舗（一部店舗除く）で平成20年7月18日～8月25日まで期間限定発売をしました。

コラボレーション商品第2弾の共通テーマは、「ドーナツバーガー」。平成21年5月12日～7月上旬まで、全国のモスバーガー店舗（一部店舗を除く）にて期間限定発売をします。



新定番

とびきりハンバーグサンド

第1弾



とびきりハンバーグサンド ¥390

とびきりチーズハンバーグサンド ¥420

シャキ!
シャキ!
国産キャベツ

国産肉ハンバーグ+旬の国産生野菜=とびきり旬なハンバーグサンド!

第2弾



とびきりハンバーグサンド トマト&レタス ¥420

とびきりハンバーグサンド レタス ¥390

とびきり!
国産合挽き
ハンバーグ

「とびきりハンバーグサンド」は、①国産 ②旬の生野菜 ③お値打ち感をコンセプトに、安心・安全・おいしさを追求した商品です。国産肉100%のハンバーグが特徴で、シャキシャキキャベツに特製デミグラスソースを合わせた第1弾商品は、平成20年12月27日～平成21年3月23日までの期間限定で販売しました。平成21年3月24日より発売された第2弾商品は、国産にこだわった生醤油ベースのぶどう酢ソースと春夏が旬の国産トマトとレタスを使用しています。

モスパークーは、日本生まれのハンバーグ専門店として、国産食材の活用積極的に取り組んでいます。今後もこうした商品開発を進め、日本の食生活に貢献できるチェーンづくりを目指していきます。

生産者の顔が見える野菜

おいしくて安全な野菜づくりに取り組んでいる日本の生産者、そして日本の農業を応援するため、モスパークーの生野菜はすべて国産です。モスパークーでは、お客さまに安心して召し上がっていただけるよう、「生産者の顔が見える野菜」の提供を推進しており、生産者と協力しながら、農業や化学肥料に極力頼らない方法で野菜を育てています。

～第2弾「とびきりハンバーグサンド」のレタス生産者より～

株式会社鈴生 代表・鈴木貴博さん（静岡県静岡市）
「『安心・安全な野菜をお客さまに提供するため、ぜひ一緒に頑張りましょう!』というありがたいお話をモスフードサービスの方からいただき、冬期のレタス産地としてスタートしました。第2弾の「とびきりハンバーグサンド」は、旬のおいしいレタスが生かされた商品です。レタスは飾りとして使われがちなのに、生産者としてとてもうれしく思っています。ぜひ、心を込めて作ったぼくらのレタスを召し上ってください」

「モスの安心・安全」は携帯サイトでもご覧いただけます。



今期の新商品



フィッシュマリネバーガー ¥320



フィッシュマリネチーズバーガー ¥350



モスのトルティーヤカレー Chorizo ¥360



モスのトルティーヤタコス ¥360

定番



十勝コロケバーガー ¥250



帆立コロケバーガー ¥320

Wパーティシリーズ



Wモスパークー ¥440



Wモスチーズバーガー ¥470



Wハンバーグ ¥340



Wチーズバーガー ¥370



Wサウザン野菜バーガー ¥440



Wテリヤキバーガー ¥440



玄米フレークシェイク・マンゴー杏仁・黒胡麻あずき ¥290



フローズンケーキ・レアチーズ・苺のショートケーキ ¥180



ビーノ モスのテリヤキバーガー風味 ¥100



モスの氷・マンゴーミルク・宇治金時ミルク ¥330



栗と玄米餅のおしるこ(粒あん) ¥330



MOSDO!

ホットチキンバーガー ¥300



スープごはんきのこのチーズチャウダー ¥590



青森りんごシェイク ¥210

リニューアル商品



海老カツバーガー ¥350



チリドッグ ¥320
スパイシーチリドッグ ¥350



モスライスバーガー きんぴら ¥280



フローズンケーキ・レアチーズ・ティラミス ¥190



ツナトマトロール ¥280
ポロニアソーセージ エッグロール ¥280



モスライスバーガー 玉子きんぴら ¥280

モスの朝ごはん

モスの商品

地域の食材を生かした
“ご当地バーガー”をエリア
別に期間限定販売し、お客さま
にご好評をいただきました
(2008年9月～11月実施)。

日本の地域限定メニュー

マッシュルームバーガー
(バリエーション4種)
東日本エリア
10/21～11月下旬

**宮崎県産霧島黒豚
メンチカツバーガー**
北海道、東北、北関東
9/12～10月中旬



・たこカツさんバーガー
・モスライスバーガー
たこカツさん
関西・中京・北陸
10/21～11月下旬



岩手県産南部どりバーガー
南関東、甲信、静岡
9/12～10月中旬



マッシュルームバーガー
(バリエーション4種)
西日本エリア
9/12～10月中旬



モスのお店



モスバーガーファクトリー
カインズホーム高槻店

フードコート店舗
モスバーガーファクトリー



「Food Wagon Coming !」人気のモスバーガーが、移動販売車でただいま到着！というライブ感、ワクワク感を演出。カラフルな楽しいイラストで、本物そっくりなワゴン車を表現してみました。フードコート店という立地に合わせ、子供から大人まで、思わず微笑んで寄ってきってしまうような楽しい世界を演出しています。

モスの海外展開

“世界のモスバーガー”を目指して
海外のモスバーガーは、2008年
12月のインドネシア・ジャカルタへ
の出店により、5つの国と地域での
展開となりました。今後も海外市
場の開拓を進めていきます。

世界各国の限定メニュー

香港
2006年10月、香港郊外のクントン地区に1号店をオープン、現在は9店舗にまで成長しました*。「お客さまから選んでいただけるお店」を目指しています。

プリプリ3本エビバーガー

タイ
2007年3月、バンコク市繁華街に1号店をオープン、現在は6店舗を展開しています*。食材は主に現地のもを使用しています。

ピザドッグ

たこカツライスバーガー

台湾
1991年2月、台北市に海外1号店をオープンして以来、売上・店舗数ともに順調に拡大し、147店舗を展開中です*。デザートメニューも豊富で大変ご好評いただいています。

菌茸ライスバーガー

プリン

シンガポール
1993年5月、シンガポールに初出店し、現在は23店舗を展開中です*。限定商品の「うなぎライスバーガー」など好評です。シンガポールの外食産業として初のISO14001の認証を取得しています。

エビライスバーガー

うなぎライスバーガー

インドネシア
2008年12月、ジャカルタに1号店をオープンしました。イスラム教徒が人口の8割以上を占めることから、豚肉メニューを外し、パティは牛100%としています。

つくねライスバーガー

各国の店舗数* 台湾147店舗 シンガポール23店舗 香港9店舗 タイ6店舗 インドネシア1店舗 ※平成21年3月末現在

モスのグループ

「モスのグループ」は携帯サイトでもご覧いただけます。



食を通じて、お客さまにもっと楽しんでいただくために

モスは“お客さまにもっと楽しんでいただく”ことをコンセプトに、外食のさまざまな分野の事業開発にも取り組んでいます。モスバーガーの経験やノウハウを活かし、今後も新規事業を展開していきます。



個人オーナー限定の生涯現役応援店舗 つけ麺専門店「つけ麺屋 麦亭」

平成20年12月、「ちりめん亭」を運営する㈱トモスの新業態として「つけ麺屋 麦亭」1号店を東京都板橋区にオープンしました。このお店は、中高年の方がご夫婦で店舗運営できるようにさまざまな工夫を施し、小規模投資・小規模運営であることが特徴で、オーナーの裁量を最大限に活せる運営体制となっています。

生涯仕事を続けたい方、定年退職後に働きながらも自分の時間を大切にしたい方などを対象としたビジネスモデルです。

メニューは魚介系スープと鶏豚白湯スープを合わせたダブルスープの「つけ麺」や、コチュジャンを効かせた「辛つけ麺」などの麺類を5品、餃子や丼物のサイドメニューを3品のみ厳選した少メニューで展開します。



つけ麺全部のせ



chef's V (シェフズV)

㈱シェフズVが運営するレストランです。「野菜を生かした魚・肉料理」をコンセプトにしています。3店舗を展開中。



マザーリーフ

スリランカ産の紅茶やアメリカンワッフルのほか、オリジナルスイーツ、ケーキが楽しめるお店です。26店舗を展開中。



ステファングリル

自家製のハンバーグや、ふわふわのオムライスを手頃な価格でスピーディに提供するカジュアルなお店です。8店舗を展開中。



AEN (あえん)

㈱四季菜(しきな)が運営する旬菜料理のレストランです。野菜を中心とした四季折々の料理が人気です。10店舗を展開中。



あらびき黒胡麻担々麺

あっさり醤油味で人気の中華そば専門店

ちりめん亭

「ちりめん亭」は、中華そば専門のチェーン店です。昭和61年に1号店「ちりめん亭新高円寺店」をオープンして以来、順調に売上・店舗数を拡大し、平成21年3月末現在で、全国に62店舗を展開しています。

メニューは、伝統的なあっさり東京ラーメンを継承する「中華そば」をはじめ、「特撰あらびき黒胡麻つけ麺」や、平成21年4月より発売された「あらびき黒胡麻担々麺」など充実したラインナップで、日本人の味覚に合った商品の提供に努めています。

店内はシンプルで落ち着いた雰囲気、カウンター席が中心となっています。女性一人でも気軽にご利用いただけるアットホームなお店です。

※平成21年3月末現在

モスの社会・環境活動

「モスの取り組み」(社会・環境活動)は携帯サイトでもご覧いただけます。



お客さまへ、地域社会へ、幸せをお届けするために

「人間貢献・社会貢献」という経営理念のもと、モスは独自の社会・環境活動を推進しています。人々との関わりを大切に、社会に貢献できるチェーンづくりを目指します。



モスオリジナル環境マーク

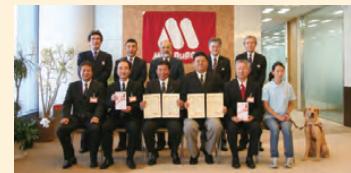
モスの食育プログラム

モスバーガーでは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、食に携わる企業の社会的な使命として食育に取り組んでいます。この取り組みは、本社のみならず、日ごろ地域の皆さまにお世話になっているお店1店1店が自主的に活動するもので、お店のスタッフが学校へ赴き、食育の授業を行います。子供たちが健全な心と体を培い、豊かな人間性を育むためのお手伝いをする中で、少しでも地域の皆さまのお役に立ちたいと考えています。



2008年度「愛のモスボックス」活動報告

「愛のモスボックス」は、全国のモスバーガーのお店に募金箱を設置し、主な団体に分けて寄付をする運動です。2008年度の募金総額は8,924,245円となりました。これまでに(財)アイメイト協会への募金で27頭の盲導犬が育てられています。(財)児童福祉愛の会や(財)日本フードサービス協会(JF)へも寄付を行っています。



「災害時帰宅困難者支援に関する協定」を締結

大規模な災害が起こった際、飲料水やトイレの提供、避難場所などの情報提供を行います。

平成21年3月現在、25の自治体と「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結しています。

※全国のモスバーガー 705店舗で登録済み



生鮮野菜の食材配送時における環境負荷値の測定結果

2007年度(測定期間:平成19年4月1日~平成20年3月31日)の生鮮野菜の食材配送時における環境負荷の削減実績は、2005年度に比べ、食材配送量1tあたりのエネルギー使用量が1,101.3MJで23.1%、温暖化負荷が81.1kgで23.5%となりました。環境負荷低減の要因として、繰り返し使用可能なリユースコンテナを全店で導入したことが挙げられます。

環境負荷項目 (店舗到達食材1t当り)	2005年度	2007年度	削減値
エネルギー使用量 (MJ)	4,762.3	3,661.0	1,101.3
温暖化負荷 (kg-換算CO ₂)	344.9	263.8	81.1
酸性化負荷 (kg-換算SO ₂)	0.5	0.4	0.1

容器・包装の「脱石油」化で環境配慮

モスバーガーでは、環境負荷の低減に向けて、いろいろな取り組みを行っています。お持ち帰り用に、どうしても必要な容器や紙袋も環境に配慮した素材を使うように努めています。



モスのコミュニケーションレポート

モスバーガーチェーンが取り組む「安心」「安全」「健康」「社会・環境活動」に関する内容と、各ステークホルダーとの関わりについて、報告・記載しています。

モスのホームページで「コミュニケーションレポート」を公開しています。 http://www.mos.co.jp/company/social_activity/report/



連結貸借対照表

単位:百万円

	第36期 (平成20年3月31日現在)	第37期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	16,683	17,616
固定資産	28,795	27,057
有形固定資産	10,333	8,438
無形固定資産	1,535	1,187
投資その他の資産	16,926	17,431
資産合計	45,479	44,674
(負債の部)		
流動負債	8,029	8,456
固定負債	2,224	1,663
負債合計	10,253	10,119
(純資産の部)		
株主資本	35,034	35,105
評価・換算差額等	△ 21	△ 759
新株予約権	106	123
少数株主持分	106	84
純資産合計	35,225	34,554
負債及び純資産合計	45,479	44,674

連結損益計算書

単位:百万円

	第36期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	第37期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
売上高	62,301	60,641
売上原価	34,623	33,236
売上総利益	27,677	27,405
販売費及び一般管理費	26,925	25,657
営業利益	752	1,747
営業外収益	2,684	2,467
営業外費用	2,158	2,413
経常利益	1,278	1,802
特別利益	12	312
特別損失	1,026	1,150
税金等調整前当期純利益	264	963
法人税、住民税及び事業税	214	205
法人税等調整額	383	203
少数株主利益又は損失(△)	△ 8	1
当期純利益又は損失(△)	△ 325	552

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

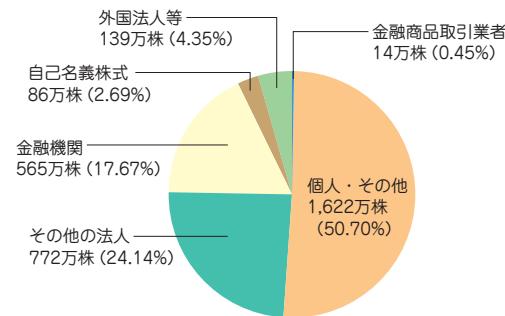
	第36期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	第37期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,694	4,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,837	△ 3,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	828	△ 1,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,693	△ 385
現金及び現金同等物の期首残高	6,905	8,598
現金及び現金同等物の期末残高	8,598	8,213

株式の情報(平成21年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 101,610,000株
 発行済株式の総数 32,009,910株
 株主数 24,042名
 (うち単元株主数23,647名)

所有者別株式分布



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
紅梅食品工業株式会社	1,400	4.37
日本生命保険相互会社	1,343	4.19
株式会社ダスキン	1,315	4.10
株式会社ニッソー	1,214	3.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,160	3.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	829	2.59
大同生命保険株式会社	790	2.47
山崎製パン株式会社	618	1.93
エイアイユーインシュアランスカンパニー(エイアイユー保険会社)	591	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	591	1.84

自己株式数861千株は、議決権がないため上記株主より除外しております。

会社概要

商号 株式会社モスフードサービス
 MOS FOOD SERVICES, INC.
 設立年月日 昭和47年(1972年)7月21日
 資本金 114億1,284万円(平成21年3月31日現在)
 主な連結子会社 株式会社エム・エイチ・エス
 株式会社モスクレジット
 株式会社トモス
 株式会社四季菜 など14社
 他に、持分法適用関連会社3社

役員 (平成21年6月26日現在)
 代表取締役社長 櫻田 厚
 取締役専務執行役員 田村 茂
 取締役専務執行役員 石川 芳治
 取締役常務執行役員 齋藤 眞澄
 取締役常務執行役員 吉野 登
 取締役上席執行役員 中井 順
 取締役執行役員 増倉 章
 取締役執行役員 福島 竜平
 取締役 西川 守男
 執行役員 齊藤 紀行
 執行役員 原口 恒臣
 執行役員 石橋 均
 執行役員 山口 伸二
 執行役員 渡邊 次郎
 執行役員 中村 栄輔
 執行役員 都築 好美
 執行役員 今田 一彦
 常勤監査役 松村 克一
 常勤監査役 長根 操
 監査役 久留島 隆
 監査役 羽根川 敏文

株式についてのご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日		
期末配当金基準日	3月31日	中間配当金基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		
上場金融商品取引所	東京証券取引所		
公 告 方 法	電子公告による		
公告掲載 URL	http://www.aspir.co.jp/koukoku/8153/8153.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)		

【お知らせ】

1. 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 (「特別口座」に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。)
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、各口座管理機関等を経由して、「配当金振込指定書」をお届けいただくこととなりましたため、「配当金振込指定書」は今回から同封を取りやめております。
 お手続きにつきましては各口座管理機関にお問い合わせください。
 (未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。)

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる方にも「配当金計算書」を同封いたしますので、金額のご確認や確定申告の資料等にご利用ください。

株主優待制度

所有株式数に応じて、全国のレストラングループ*およびミスタードーナツの各店舗(一部店舗を除く)で利用できる株主優待券を、年2回ご提供しています。

*レストラングループの各店舗: モスバーガー、マザーリース、カフェ・レジェロ、ステファングリル、ちりめん亭、AEN、chef's Vなど。

■ 発行日 6月、11月(予定)

■ 対象基準

単元株(100株)以上の株式を所有している方が対象となります。

6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

■ 優待内容(消費税含む)

100株以上 500株未満……年間 1,000円分(500円×1枚×2回)

500株以上1,000株未満……年間 6,000円分(500円×6枚×2回)

1,000株以上……年間20,000円分(500円×20枚×2回)

■ 有効期限

6月発行分 翌年3月末日まで、11月発行分 翌年9月末日まで

モスバーガーとミスタードーナツで株主優待券が相互利用できます。

モスフードサービスとダスキン(株主優待券が、全国のレストラングループおよびミスタードーナツ各店舗で相互利用できるようになりました。

(「ご使用期限 平成21年9月30日」のご優待券より使用可能) ※一部店舗除く

携帯サイト会員募集中



会員(無料)登録すると楽しいコンテンツやお得な情報など特典が盛りだくさんです。ぜひご登録ください。DoCoMo、au、SoftBankの携帯から直接アクセスして登録ページへ。(一部機種を除く)

<http://mos.jp>



IRメールニュース会員募集中

●モスバーガー IRサイト

最新の投資家向け情報および企業情報などをご紹介しています。

<http://www.mos.co.jp/company/ir/>

●モスバーガー IRメールニュース

月次情報や決算情報といったIR情報を中心に、モスフードサービスのIR情報をはじめやくお届けする無料メール配信サービスです。

<http://www.mos.co.jp/company/ir/mailnews/>



お問い合わせ先
広報IRグループ Tel 03-5487-7371



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩手町との連携により実現した「森の町内会」間伐に寄与した紙一を使用しています。

